

攻撃性の科学と 暴力をめぐる臨床



企画概要

暴力とは何か、なぜ起きるのか—犯罪心理学では、この問いにどう向き合い、どう支援するかが長年のテーマです。本研修会では、午前に攻撃性の構造や発現メカニズムを理論的・学術的に概観し、午後には福祉・矯正・民間の現場で活躍する実務家によるシンポジウムを通じて、暴力への多面的な理解と支援の実践知を紹介します。理論と現場をつなぐことで、暴力理解の深化と支援の可能性を広げる場となることを目指します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2026年6月28日（日）10:00-16:00

第1部 基調講演

濱口 佳和 氏（筑波大学）

「攻撃性の発達的基盤—社会的情報処理モデルを中心に—」

第2部 シンポジウム

内海 新祐 氏（社会福祉法人旭児童ホーム）

「暴力をめぐる臨床雑感—児童福祉領域において」

古賀 絵子 氏（原宿カウンセリングセンター）

「DV加害者臨床から見る暴力—背景にある認知・信念」

工藤 弘人 氏（瀬戸少年院）

「暴力非行の変遷と少年院処遇」

オンライン開催



※司会・指定討論 高橋 哲（お茶の水女子大学）

森 丈弓（甲南女子大学）

定員

250名 定員になり次第締め切り

【注意】ご参加は本学会の会員に限ります。事前のお申込みが必要です。

参加費

2,000円

- お申込みは日本犯罪心理学会のウェブサイトから行えます。所定のフォームに必要事項を入力の上、送信してください。本研修会の詳細は、<https://www.jacpsy.jp/training/> を御覧ください。
- 申込期間は、2026年4月15日（水）～同年5月31日（日）です。
- 本研修会は臨床心理士研修ポイントの申請を予定しています。
- 本研修会に関するお問合せは hanshin_kensyu@aol.jp まで

